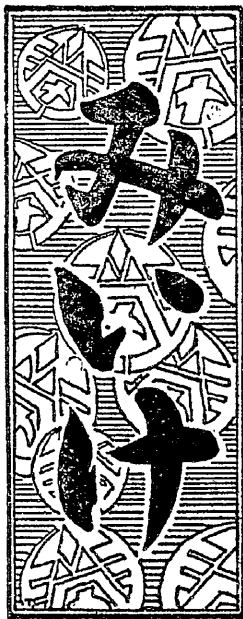


新選挙戦へ木を返す切り首

選挙戦の歯車は全速力で回転中



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話3033番
7140番
編集人 坂
発行人

選挙の種類	告示の日	選挙日
都道府県知事	三月二十九日	四月二十三日
都道府県会議員	四月八日	四月二十三日
市長及び市会議員	四月十八日	四月三十日
町村長及び町村会議員	四月二十一日	四月三十日
参議院議員	五月七・十一日	六月二日

募金エンピツ塗変える

食物にされた學童

会長土屋知事は知らぬ存ぜぬ

福岡県知事土屋香鹿氏が一億円の不正融資にもとづく一千万円のりべートを償ったことに関係があるとして、県議会やリコールで追及されたことは耳新しいものであるが、またまた土屋知事を会長とするアジア友好協会や学生会館問題で不正事件が起つていくことが三月県議会に波及され、県民の憤りをかっている。

益金は人権費や飲食費

学生会館問題というのは、九州各県から毎年福岡市を訪れる小中高校の修学旅行生徒のため、宿泊設備を建設するため、宿舎設備を建設する

東京、大阪、北海道、福岡の知事選は名実ともに保守革新の一騎討ちになりそうである。自民党や資本家はこれの四つ選挙に社会党よりも「宣伝もカネも十倍」というかけ声で選挙違反も何ものぞと猛烈に運動を展開している。金をもたない革新候補は組織だけが頼りであることは当然である

ある国のブドー産地の町で毎年ブドー酒を神様に捧げる行事が行われていました。これは神様の前に大きな革袋をつるし、お百姓さんがコップ一杯のブドー酒をこれにうつすのですが、毎年このことなので、こんどの一回ぐらいいは私



などがうたわれている。

食いつぶすという不正な募金運動がおこなわれた事件である。募金の目的は福岡市大濠護国神社外苑の一千六百五十平方メートルを購入、鉄筋二階建延べ一千四百メートルの「財団法人九州学生会館」を建設

一時に修学旅行の小中高校生五百人を最低料金で宿泊させるもので、計画では貧困家庭の児童には宿泊料を免除する

前進

おれ一人位が危険

このおとぎ話は選挙のときによく使われるのですが、お百姓さんのコップ一杯が、清き一票と同じだと判断すると、こんどは組合の〇〇候補は大丈夫だろう、俺一人ぐらいいは俺の家一軒ぐらいいと思つて投票

二千七百万円の利益を得るために、学生会館建設委員会は、五百万本の鉛筆を丸善より一本三円二十

粗悪な鉛筆を売る

学生会館事件に引きつづいて土屋知事が会長であるアジア友好協会事件が起り、汚職の拡大と底深さに県民は唖然となつていく。

アジア学生の親和善導と人材養成などを目的として、昭和三十三年四月土屋知事を会長に県の総務、民生、商工各部長を常務理事、そして問題の桜井徳太郎中将などが名を連ねた。

事業はまず留学生のための学生寮をつくることにして、三十二年四月、福岡市東公園の県有多一方亭(駐留軍が使用していたものを県に返還した建物)を県から借りつけ学生寮に改造した。

ところが、ここで問題になるのは、この鉛筆が二十万本くらいは売れたが、粗悪品として約八万本が返品された。この粗悪品の鉛筆は「九州学生会館賛助エンピツ」を塗りかえ、そのうえに「アジア友好協会賛助エンピツ」と印刷したことが判明した。また塗

汚職はまだある

浦川県議談 一億円の不正融資の際、土屋知事は済まなかつたといつたが、依然県庁をとりまく汚職はつづいていく。こんどの学生会館アジア友好協会はその一部であつて、使い込みに対す

有権者になる手續

大牟田市選挙管理委員会では四月に行われる地方選挙にそなえて補充名簿の調整に力を入れている。

- 1、日本国民で昭和十四年四月十一日まで
- 2、大牟田市に昭和十四年一月十日以前に市外より転入された人
- 3、昭和十四年四月十日までに復権された人

- 1、日本国民で昭和十四年四月二十三日までに生れた人
- 2、大牟田市に昭和十四年一月二十三日以前に市外より転入された人
- 3、昭和十四年四月二十二日に復権された人

申請期間は県の選挙の場合、四月十一日から十三日まで三日間の選挙の場合、四月二十三日から二十四日まで二日間の補充名簿調整期間は県の場合、四月十六日より十八日まで三日間の場合は四月二十六日一日間